



喜友名 星乃

高校卒業後、専門学校へ進学。平成23年入局。警防隊(ポンプ隊・機関員)に従事し、現在に至る。那覇市では女性初の水難救助隊も務める。

警防隊(機関員)

元々体を動かすことが好きで、それを生かせる仕事に就きたいと思っていました。テレビで女性消防士の姿を見たことが、目指すきっかけに。現在は、機関員として消防車の運転やポンプ操作を担当しています(ポンプ隊と1か月交代)。業務では、迅速・安全・確実に現場まで行くことを心がけています。

消防車の運転中や現場では、住民の方から「女性もいるんだ!」とよく驚かれます。それが普通になるように女性隊員がもっと増えてほしいですね。運転や水難救助に性差はありませんので、自分の得意なことが活かせる職場だと思います。また、消防士は3~4人で1隊を作るので、チームワークがとても大切です。協調性があり元気で健康な女性の方、ぜひ消防士になりませんか。

火災予防

小さい頃から看護師か体育の先生になりたいと思っていました。大学生の頃、父の病気などの経験から、自分の体力を生かして医療にも携わることのできる職業に就きたいと思い、救急救命士を目指すことに。妊婦さんや入浴中に倒れた女性に対応する現場もあり、その時は同じ女性として寄り添うことを大切にしています。予防課では各種防火管理講習会や火災予防広報、事業所への立入検査、条例に基づく届出業務を担当しています。今は保育園の送迎のため時差出勤を活用していて、子育て中の女性でも働きやすい職場です。これから若い女性職員も入ってくると思うので、ロールモデルになれば良いなと思っています。



津波古 典子

大学卒業後、専門学校で救急救命士の資格を取得。平成17年入局。警防隊、救急隊、救急課を経て令和2年度から現職。その間に育休・産休を取得。



當山 英里

高校卒業後、大学で教員免許を取得。平成15年入局。警防隊(ポンプ隊・機関員・指揮隊)、総務課、救急隊、予防課を経て、平成31年より現職。

指令情報

元々、教員を目指していたのですが、県内初の女性消防士と知り合ったことがきっかけで消防士を目指すことに。那覇市女性消防士第1号として注目されるプレッシャーはありましたが、「次に繋げなければ」という思いで、自分なりに工夫して業務にあたることを心がけています。指令員とは、119番通報を受けて状況を判断し、消防車や救急車を出動させる業務です。緊張しながら電話をかけてきた方が、女性の声で安堵してもらえると嬉しいですね。指揮隊として出動した時は、女性と知った住民の方が安心して応じてくれて、情報収集が円滑に行えたこともありました。消防士は人とのコミュニケーションが好きで責任感が強い方にはぴったりな仕事です。

指令情報

生まれ育った那覇市に貢献したいという気持ちがあり、24歳の時に女性消防士募集の記事を見かけて消防士を目指すことに。若い時は、女性だから負けなようにといっぱい勉強もしましたが、そんなに気張る必要はなかったなと今は思っています。育児休業を約1年間取得し、復帰する際には日勤を希望し配置してもらいました。消防士は公務員ですので、育休をはじめ福利厚生がしっかりしています。消防士という力仕事のイメージが強いかもしれませんが、報告書を作る際の事務能力や、外部機関との折衝能力、住民とのコミュニケーション能力が必要とされる職業です。ぜひあなたの能力を消防で生かしてみませんか?



折笠 留美子

高校卒業後、大学法学部で学んだ後、ラジオ局に就職。平成16年入局。警防隊、総務課、予防課を経て現職。

女性対象オープンセミナー

消防士に興味のある女性向けに、オープンセミナーを開催します。消防業務の説明や消防署見学、現役女性消防士とのフリートークを予定しています。お友達や家族と一緒にの参加もOK! 気軽にご参加ください。

日時 3月28日(月)9時~12時

場所 那覇市消防局(那覇市銘苅2-3-8)

対象 高校生以上の女性

定員 先着30人

申込み 3月7日(月) 9時30分受付開始。消防局HPからネット申込み。

問合せ 消防局総務課 ☎867-0119

待ってるよ~



総務

高校生の頃に救急救命士の存在を知り、同時期に那覇市で女性消防士が採用されたこともあり、進路を決めました。総務課では、消防職員の福利厚生などの業務を担当しています。現場とは違いデスクワークが主ですが、縁の下の力持ちとして、職員が働きやすい環境を作るよう業務に取り組んでいます。また、災害時などのいざという時に備え、休憩時間などに体を動かすよう意識しています。中学・高校の頃に運動部ではなかったのですが、消防学校で訓練するので体力は自然とつきます。子育て中でも休みなどは配慮してもらえるので、育児とも両立できる仕事です。女性消防職員が増えることで、より市民のみなさんの期待に応えることのできる消防局になれるのではないかと思います。



泉 藍海

高校卒業後、専門学校で救急救命士の資格を取得。平成21年入局。警防隊(ポンプ隊・機関員)、消防署日勤(庶務)、救急隊を経て現職。その間に育休・産休を取得。

※撮影の際のみマスクを外しています